

巨大な地下司令部

戦争遺跡を歩く②



日吉台地下壕

横浜市港北区

アーチ形の地下壕（こう）入り口を見るど、急な下り坂です。懐中電灯を片手に奥へ進むにつれ、通路は網の目のように分かれています。

全長260㍍。横浜市港北区日吉にある慶應大学と付属高校のキャンパス地下の巨大な地下壕です。終戦（1945年8月）まで連合艦隊司令部などが置かれていました。



アクセス 東急東横線、地下鉄グリーンラインの日吉駅から歩く

申込

見学会

料金

時間

定員

備考

お問い合わせ

HP

http://hiyoshi-dai-kagou.net

「日吉台地下壕保存会」による定期見学会が開催されています。この会は1988年、地域住民と慶應義塾教職員らによって結成。年間1000人以上の見学者を案内しています。

インターネットで見る
同「会」の新井揆博
（みちひろ）副会長性（38歳、東京都荒川区）は「軍隊って格差する動きも出てきていい中で、戦争の実相を明らかにし歴史を正しく伝えるために、戦争遺跡の役割は大事になつたのは1944年7月。この地下壕と地上つている」と話します。

地下壕の建設が始まつたのは1944年7月。この地下壕と地上の音宿舎でレイテ沖海戦、硫黄島戦、沖縄戦などの作戦が練られたことがあります。

地域住民の一人として見学者のガイドを始めた渡辺清さん（68）は「戦争の真実を伝えなきやいけない。どこに子どもたちに」と話していました。